

スポーツへの関心を高める機会の提供について

《スポーツへの関心を高める機会の提供について》

今年度においては、第33回オリンピック競技大会がパリで開催され日本人選手の活躍が目立ちました。その中には、あま市出身の加納虹輝選手がフェンシング男子エペで個人では金メダル、団体では銀メダルを獲得する活躍でありました。

あま市スポーツ推進計画の目標指針では令和9年度には、週に1回以上運動・スポーツを行う20歳以上の市民の割合を70%にしたいとしています。

そのため、多くの子どもたちにスポーツへの関心を持ってもらえるよう、トップアスリートがプレイしているリーグ大会を観戦する機会の提供、トップアスリートとの交流機会の提供など、競技スポーツに関心を持つ機会を増やし、子どもたちが「する」「みる」「ささえる」といったスポーツ活動に参画しやすい環境を整えることが必要であります。

スポーツ推進計画を策定するにあたって、市民を対象に次のアンケート調査を実施しました。

- (1) 観戦したスポーツについて
- (2) スポーツを観戦して感じたことについて
- (3) スポーツを支える活動との関わりについて

結果につきましては、

(1) 観戦したスポーツについて

- ① スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦したスポーツでは
 - ・「観戦した」は「野球」：22.9%、「サッカー、フットサル」：7.1%
 - ・「観戦しなかった」：36.9%
- ② テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツでは
 - ・「観戦した」は「野球」：57.1%、「卓球」：40%、
「マラソン・駅伝」：34.8% 「サッカー、フットサル」：34.2%

(2) スポーツを観戦して感じたことについて

- ・「感動した」：51.1% ・「次回も観戦したいと思った」：33.5%
- ・「気分転換ができた・ ストレスが解消した」：28.9%

(3) スポーツを支える活動との関わりについて

- ・「子どものスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援」：6.6%
- ・「スポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の定期的な活動）」：4.8%
- ・「関わらなかった」：76.0%

《あま市の取組み状況》

- ・令和6年6月9日・16日（日）あま市役所展示スペースにおいて「パリオリンピック・パラリンピック大会市民応援事業」として加納虹輝選手が2020東京オリンピック フェンシング男子エペ団体で獲得しました金メダル等の展示を行い、332名の来場者がございました。
- ・令和6年6月16日（日）市役所集い広場・交流広場において、インクルーシブスポーツである「モルック体験会」を開催し61名、パリオリンピック正式種目でもある「BMX体験会」37名の参加者がございました。
- ・令和6年7月27日（土）小学生夏休みスポーツ教室の「キャッチボール教室」では元中日ドラゴンズの野口選手を講師に向えて開催し38名の参加者がございました。
- ・令和6年7月29日（月）パリ2024オリンピック競技大会フェンシング男子エペ個人戦の加納虹輝選手の応援を市役所1階ロビーで行いました。
- ・令和6年8月3日（土）パリ2024オリンピック競技大会フェンシング男子エペ団体戦の加納虹輝選手の応援を市役所1階ロビーで行いました。
- ・令和6年11月30日（土）に七宝総合体育館において、トップアスリートとの交流、指導、スポーツへの興味・関心を高める機会として、プロフットサルチーム名古屋オーシャンズのご協力のもと、フットサル体験教室を開催し74名の参加者がございました。
- ・令和6年12月1日（日）に甚目寺総合体育館において、前回2020東京オリンピックアーチェリー競技男子団体で銅メダルを獲得しました、あま市ゆかりのトップアスリートであります武藤弘樹選手を招いて「アーチェリー体験会」を開催し、150名の参加者がございました。
- ・令和6年12月22日（日）に豊田合成記念体育館において、スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験するスポーツ観戦事業として、プロバスケットボールチーム ファイティングイーグルス名古屋にご協力をいただき『スポーツ観戦事業（あま市民デー）』及び「モルック体験会」を開催し、267名の参加者がございました。

上記のアンケート結果やあま市の取組み状況を踏まえ、どのように進めたらスポーツへの関心を高める機会の提供ができるか、皆様のご提案や情報等をお聞かせ願いたいと思います。

《今後の課題》

- 1 多く子どもたちにスポーツへの関心を持ってもらうため、トップリーグの大会観戦機会、トップアスリートとの交流機会や競技スポーツに関心を持つ機会の醸成を図る。
- 2 関係団体と連携を図りながらスポーツ施設をどのように活用して、気軽にスポ

ーツが楽しめる場所を提供していくか。

- 3 スポーツや運動が好きな子どもを増やすための施策として関係団体と連携を図っていくか。